

平成19年10月3日

各 位

会社名 株式会社 セキド
代表者名 代表取締役社長 関戸 正実
(コード番号 9878 東証第二部)
問合せ先 取締役執行役員総務部長 弓削 英昭
TEL. 042-643-6835

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年8月27日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせします。

記

1. 平成20年2月期中間業績予想の修正（平成19年2月21日～平成19年8月20日）

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想（A）	12,100	60	160
今回修正予想（B）	12,101	90	112
増減額（B-A）	1	30	△ 48
増減率（%）	0.0	50.0	△ 30.0
（ご参考） 前年中間期実績（平成19年2月中間期）	15,335	△ 483	△ 3,192

（金額の単位：百万円）

2. 平成20年2月期通期業績予想の修正（平成19年2月21日～平成20年2月20日）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	25,000	240	320
今回修正予想（B）	25,000	270	270
増減額（B-A）	――	30	△ 50
増減率（%）	――	12.5	△ 15.6
（ご参考） 前期実績（平成19年2月期）	31,134	△ 259	△ 3,703

（金額の単位：百万円）

3. 修正の理由及び特別損失の計上について

経常利益は、猛暑の恩恵により、8月に入ってから季節商品等の販売が、より付加価値の高い商品構成であったことなどが功を奏し、前回見込みから30百万円の増額となりました。一方、たな卸資産のうち、売価還元法により評価しているファッション部門の商品群について評価の見直しを行い、前事業年度末以前に発生していた原価差額93百万円について特別損失を計上したことなどにより、中間純利益は前回予想を48百万円下回る見込みであります。

なお、通期業績予想につきましては、上半期に引続き、高付加価値商品の販売や販売管理費の削減を推し進めてまいります。下半期に向けて、消費動向の不透明感がぬぐえない状況であることから、前回予想同様、下半期業績予想を当初見込どおりとしております。

※本資料の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって本資料の予想数値と異なる可能性があります。

以 上